

- ★注 1 4種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風)及び3種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風)の合計接種数を計上。()内は3種混合ワクチン接種数を再掲。
- 2 対象数は、ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風第1期追加については前年度の3種混合及び4種混合第1期初回3回目の接種者数。日本脳炎第1期追加については、前年度の第1期初回2回目の接種数。ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン第1期追加については前年の接種開始月齢2～7か月の3回目の接種数。子宮頸がん予防ワクチンについては前年度3月末の標準的な接種年齢の人口。その他については標準的な接種年齢へ達した者への通知数。
- 3 平成24年9月1日の省令改正により、生ポリオワクチン(OPV)による集団接種から不活化ポリオワクチン(IPV)による個別接種へ移行になった。なお、改正前から任意での不活化ポリオワクチンの接種が可能であったこと等の理由から、対象者を正確に把握することが困難なため、接種数のみ計上。
- 4 平成17年5月30日に厚生労働省健康局結核感染症課長より「定期の予防接種における日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨の差し控え(勧告)」が出され、川崎市では第2期対象者への接種勧奨(個別通知)を見合わせているため、対象者数及び接種率を算出できない。
なお、第1期初回は平成22年4月1日、第1期追加については平成23年3月31日に厚生労働省健康局長より「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正について通知が出され、標準的な接種年齢に該当する者に対して積極的な接種勧奨が再開された。
- 5 インフルエンザの対象数は9月末現在65歳以上人口。
- 6 高齢者の肺炎球菌感染症は平成26年7月2日の予防接種法施行令の改正により、平成26年10月1日から定期接種の対象に追加された。対象数は、平成26年度は平成26年3月末時点の対象年齢の人口、平成27年度以降は個別通知発送時点の対象者数。
- 7 ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンについては、平成23年度から平成24年度まで子宮頸がん等ワクチン接種事業により実施したが、平成25年3月30日の予防接種法改正により、平成25年4月1日から定期予防接種として実施している。平成23年度及び平成24年度については個別通知を発送していないため接種率を算出できない。なお、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについては平成25年6月14日付け厚生労働省健康局長より「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種の対応について(勧告)」が出され、積極的な勧奨が中止されたため、平成25年度から個別勧奨(個別通知)を行っていない。
- 8 水痘は平成26年7月2日の予防接種法施行令の改正により、平成26年10月1日から定期接種の対象に追加された。平成26年10月1日から平成27年3月31日までに限り、生後36月に至った日の翌日から生後60月に至るまでの間にある者も経過措置として1回の接種を受けられることとなった。
- 9 BCGは平成27年度までは保健所での集団接種にて実施、平成28年度から個別接種へ移行した。

資料: 感染症対策課